

2026年度東京経済大学学術フォーラム

現代日本の高等教育と学生の経済的負担 —課題と解決策の検討—

主催：東京経済大学

日時：2026年11月28日（土）13:00～

場所：東京経済大学 進一層館ホール

定員250名（当日受付は先着順）／参加無料

【日程詳細（タイムテーブル等）】

13:00 開会挨拶 小川英治（東京経済大学学長）

13:05 趣旨説明 戸邊秀明（東京経済大学教授）

13:15 基調講演①「奨学金問題から見えてくる学生の貧困」

大内裕和（武蔵大学教授、奨学金問題対策全国会議共同代表）

14:00 基調講演②「消費者法ゼミ活動の取り組みから見えてきたこと

—金融教育としての高校生向け教材作成の事例—

村千鶴子（東京経済大学名誉教授、弁護士）

14:45 休憩（15分）

15:00～15:50 論点整理（各10分）

① 貧困研究・社会保障の視点／常森裕介（東京経済大学教授）

② 労働組合の視点／櫻井大介（労働者福祉中央協議会事務局次長）

③ 海外との比較：留学生の観点／関昭典（東京経済大学教授）

④ 海外との比較：東アジアの視点／李杏理（東京経済大学専任講師）

⑤ 海外との比較：ヨーロッパの観点／寺田佳孝（東京経済大学准教授）

15:50 休憩（10分）

16:00 パネルディスカッション

17:00 閉会

参加申込：資料準備のため以下からお申込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/b47a8e96887174>

問い合わせ先：yterada@tku.ac.jp

基調講演 講師紹介



大内 裕和

(おおうち ひろかず)

1967年生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程をへて、現在は武蔵大学教授。専門は教育社会学。「奨学金問題対策全国会議」共同代表。

2013年、「学生であることを尊重しないアルバイト」のことを「ブラックバイト」と名づけ、社会問題として提起した。主な著書に、『ブラックバイトに騙されるな!』（集英社クリエイティブ）、『教育・権力・社会』（青土社）などがある。



村 千鶴子

(むら ちずこ)

1976年3月、名古屋大学法学部卒業。1978年4月より弁護士。2004年4月から2024年3月まで、東京経済大学現代法学部教授。2024年6月、消費者支援功労者として内閣総理大臣表彰を受ける。現在、東京経済大学名誉教授、弁護士、一般財団法人日本消費者協会理事長、非特定営利活動法人消費者機構日本副理事長、日本弁護士連合会消費者問題対策委員会委員、国民生活センター消費者判例評価検討委員会委員・客員講師。

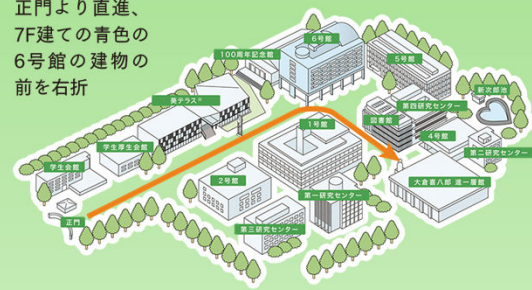
国分寺キャンパス/
会場のご案内

国分寺南口から徒歩12分

※お車でのご来場はご遠慮ください



正門より直進、
7F建ての青色の
6号館の建物の
前を右折



※東テラス EAST：2026年9月オープン、東テラス WEST：2028年9月オープン